

8A50

NSY8A501-A2303

SEIKO WATCH CORPORATION

Copyright©2023 by SEIKO WATCH CORPORATION

Printed in China

D-17

SEIKO

8A50

ソーラークロノグラフ 取扱説明書
SOLAR CHRONOGRAPH INSTRUCTIONS

日本語 **JA 1**

English **EN 1**

そのほかの言語の取扱説明書は、パソコンやスマートフォンから当社ホームページ内の「カスタマーサービス」>「取扱説明書」にアクセスいただき、ご覧ください。

Please refer to the Instruction Manuals of other languages by accessing "Customer Service"→ "Instruction" on our Website from PC or Smartphone.

Deutsch / Français / Italiano / Español /
Русский язык / العربية / Português /
简体中文 / 繁體中文 / 한국어 / ไทย



<https://www.seikowatches.com/>

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、
弊社お客様相談室へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは
お取扱いいただけない場合があります。

※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

JA 1

目次

1 操作について

製品取扱上のご注意	4
製品の特長	8
各部の名称と主なはたらき	9
りゅうずについて	10
表示の切り替えかた	12

2 時刻の合わせかた

時刻の合わせかた	14
----------	----

3 ストップウォッチの使いかた

ストップウォッチ機能について	17
ストップウォッチ機能部の名称とはたらき	17
ストップウォッチご使用前の確認	18
ストップウォッチの使いかた	20

4 ソーラー充電機能について

充電について	25
充電のしかた	25
充電にかかる時間のめやす	26
エネルギーについて	27

5 ご注意いただきたいこと

使用電源について	28
お手入れについて	30
性能と型式について	31
ルミブライトについて	32
防水性能について	33
耐磁性能について(磁気の影響)	34
バンドについて	36
皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の 使いかた	39
スマートアジャスター機構つき 中留(なかどめ)の使いかた	45
アフターサービスについて	48

6 困ったときは

針の基準位置を合わせる	50
こんなときには	54
万が一、充電しても動かない、または異常な 動きになったとき	57
システムリセットをする	57

7 製品仕様

製品仕様	59
------	----

JA 2

JA 3

製品取扱上のご注意

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定される内容を示します。

次のような場合、ご使用を中止してください。

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。

- 部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
- 万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

時計から二次電池を取り出さないでください。

- ※ 二次電池について → 使用電源について → P. 28
- 二次電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。
- 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂・発熱・発火などのおそれがあります。

⚠ 警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要な過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

⚠ 注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください。水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください。

- 揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
- 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ
- 高湿度なところ
- 磁気や静電気の影響があるところ
- ホコリの多いところ
- 強い振動のあるところ

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 時計本体や二次電池の廃棄については、自治体の指示に従ってください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。時計内部に水分が入ることがあります。※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください。蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

製品の特長

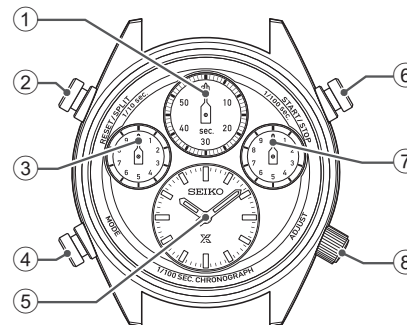
この時計はストップウォッチ機能を搭載したソーラーウォッチです。

- 1/100 秒単位で計測できる本格ストップウォッチ機能を搭載しています。
- ソーラーパネルで受けた光を「電気エネルギー」に換え、時計を動かしています。

※クロノグラフとはストップウォッチ機能のついた時計のことです。

- **ストップウォッチ機能**..... 1/100 秒単位で計測できます。計測時間は 60 分です。
→ P. 17
60 分経過すると自動的に停止します。
- **ソーラー充電機能**..... 文字板上のソーラーパネルで光を電気エネルギーに換え、充電します。フル充電後、光が当たらない状態でも、約 6 ヶ月間の動作が可能です。

各部の名称と主なはたらき

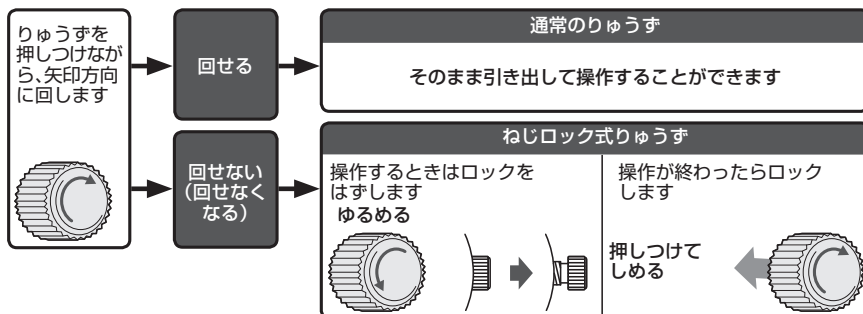


- ① ストップウォッチ秒針
- ② ボタン B
ストップウォッチ スプリット/リセット
- ③ ストップウォッチ 1/10 秒針
- ④ ボタン A
表示切り替え
- ⑤ 時針・分針(ストップウォッチ針)
- ⑥ ボタン C
ストップウォッチ スタート/ストップ
- ⑦ ストップウォッチ 1/100 秒針
- ⑧ りゅうず
 - 0 段目: ストップウォッチ
 - 1 段目: 時刻合わせ、ストップウォッチ針の基準位置合わせ、システムリセット

※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。

りゅうずについて

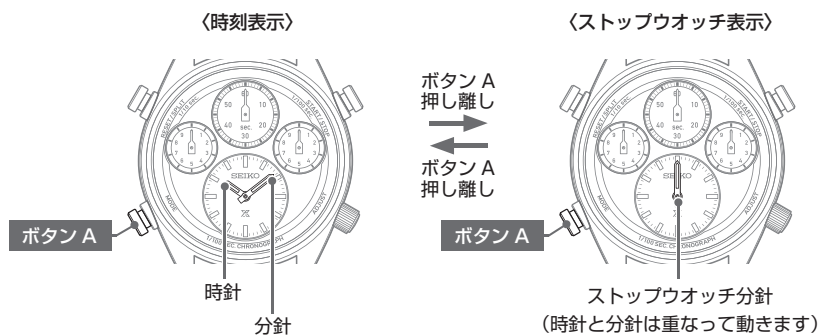
りゅうずには、通常のものとはロックできる構造のもの、2 つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

表示の切り替えかた

下図の操作で、「時刻表示」と「ストップウォッチ表示」が切り替わります。表示を切り替えることで、各針の機能が変わります。



※「時刻表示」と「ストップウォッチ表示」が切り替わる際には、時分針やストップウォッチ針が動きます。

※ストップウォッチ作動中でもボタン A を押しと「時刻表示」に切り替わります。

時刻表示中もストップウォッチ計測は継続されます。ただし、スプリットは解除されます。

※ストップウォッチがリセット状態のままで 10 分経過すると、自動的に「時刻表示」に切り替わります。

※0 時 0 分、12 時 0 分のタイミングは時刻表示の状態でも、ストップウォッチ表示のリセット状態と同じ針位置になります。

針位置による表示状態の判別が難しい場合は、ボタン C を押してください。ストップウォッチ針が動けばストップウォッチ表示の状態です。

時刻の合わせかた

1 ボタン A を押して表示を切り替え、時計が動いていることを確認する

ストップウォッチ秒針(1/100 秒・1/10 秒・秒)が 6 時位置を指しているときは、エネルギー残量が少ない状態です。文字板に光をあてて充電してください。

「充電について」→ P. 25

「充電にかかる時間のめやす」→ P. 26

2 ボタン A を押して時刻表示に切り替える

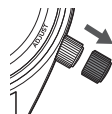
「表示の切り替えかた」→ P. 12

3 りゅうずを引き出す

時分針が現在時刻の次の分の位置に移動します。

例：現在時刻が「10 時 8 分 42 秒」の場合、時分針が「10 時 9 分 00 秒」の位置に移動します。

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外してください。



4 りゅうずを回して時刻を合わせる

りゅうずを右に回すと、時刻が 1 分進みます。

りゅうずを左に回すと、時刻が 1 分戻ります。

りゅうずを連続して回すと、すばやく針が回ります。



5 時報と同時にりゅうずを 0 段目まで押し込む

時計が動きはじめます。

※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作後必ずロックしてください。

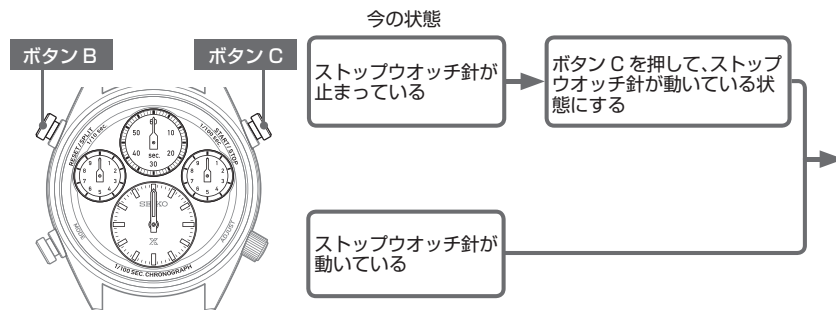
■ ストップウォッチご使用前の確認

ストップウォッチをご使用前に、リセットをしてストップウォッチ針(1/100秒・1/10秒・秒・分)が「0秒・0分」位置に停止しているかご確認ください。

※ストップウォッチ針(1/100秒・1/10秒・秒)が6時位置を指しているときは、エネルギーが不足しているので、ストップウォッチの操作をしても作動しません。充電してから使用してください。
「エネルギーについて」→P. 27

・リセットのしかた

※ストップウォッチはりゅうず0段目で操作できます。

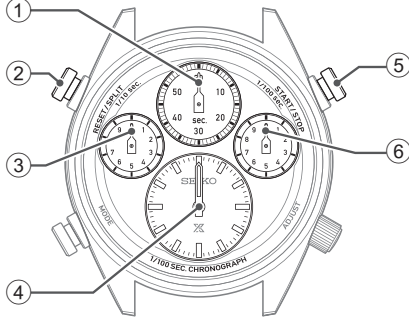


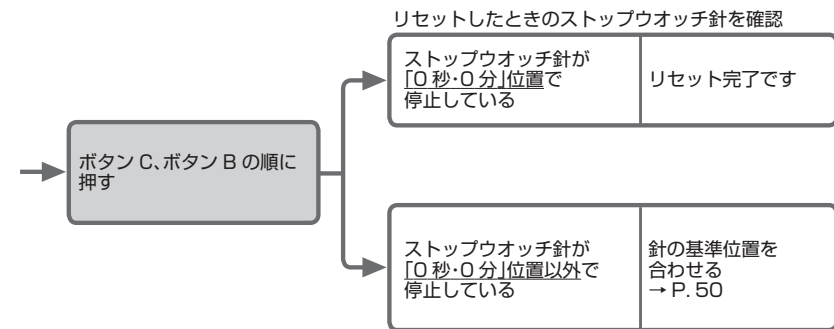
ストップウォッチ機能について

1/100秒単位で最大60分まで計測できます。60分計測後は、0分0秒位置に針が停止し計測がリセットされます。

■ ストップウォッチ機能部の名称とはたらき

「ストップウォッチ表示」に切り替えます。「表示の切り替えかた」→P. 12

- 
- ① ストップウォッチ秒針
1秒単位表示
 - ② ボタンB
スプリット/リセット
 - ③ ストップウォッチ 1/10秒針
1/10秒単位表示
 - ④ ストップウォッチ分針
分単位表示
・時分針が重なったまま動きます。
 - ⑤ ボタンC
スタート/ストップ
 - ⑥ ストップウォッチ 1/100秒針
1/100秒単位表示



ストップウォッチの使いかた

3

ストップウォッチの使いかた

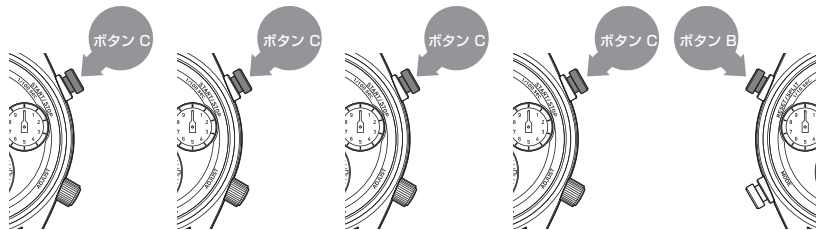
- ※1/100秒針と1/10秒針は、スタート後1分間は運針しますが、その後は12時位置へとどまります。
- ストップ、またはスプリット操作があった場合は、その計測時間を表示します。
- 再スタート、またはスプリットを解除すると、再度1分間は運針します。
- ※ストップウォッチ作動中でもボタンAを押すと「時刻表示」に切り替わります。
- 時刻表示中でもストップウォッチ計測は継続されます。ただし、スプリットは解除されます。
- ※ストップウォッチ作動中にエネルギーが少なくなると、計測がリセットされることがあります。
- ※ストップウォッチ針(1/100秒・1/10秒・秒)が6時位置を指しているときは、エネルギーが不足しているので、ストップウォッチの操作をしても作動しません。充電してから使用してください。「エネルギーについて」→P.27

JA 20

3

ストップウォッチの使いかた

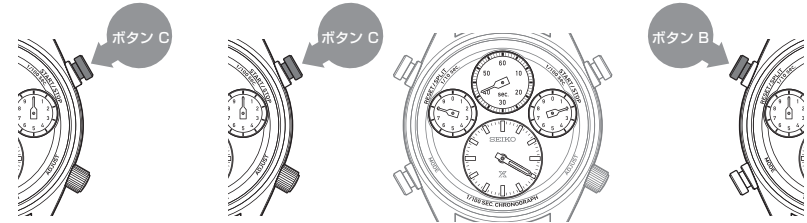
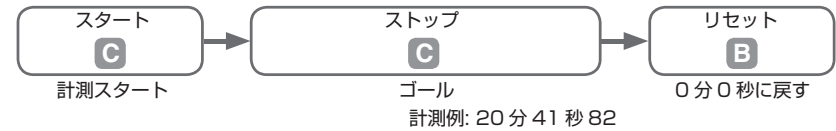
- 積算で計測を行う場合 例: サッカーの試合時間計測



- 計測途中のストップ→スタートは、何回でも繰り返すことができます。

JA 22

- 通常の計測 例: 5000メートル走



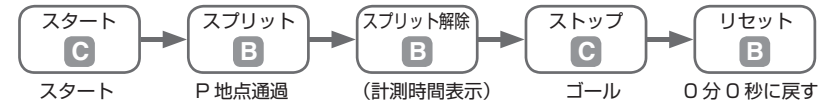
3

ストップウォッチの使いかた

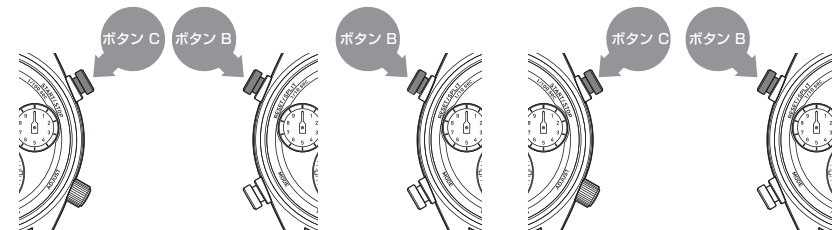
JA 21

- スプリットタイム(途中経過時間)の計測 例: 5000メートル走

※スプリットタイムとは、スタートからある地点までの途中経過時間のことです。

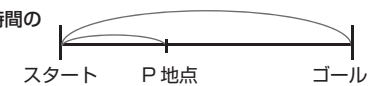


途中経過時間表示



- 計測途中のスプリット→スプリット解除は、何回でも繰り返すことができます。

途中経過時間の計測の例

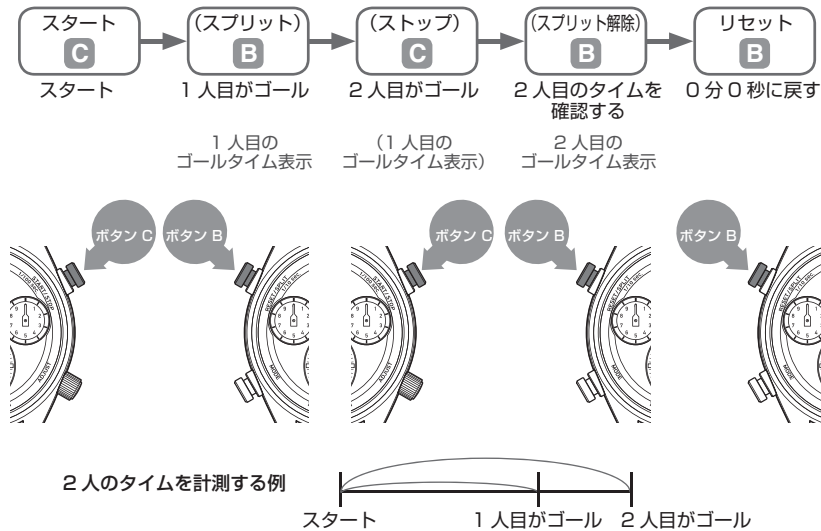


3

ストップウォッチの使いかた

JA 23

・2人のタイムを計測する場合



■ 充電にかかる時間のめやす

以下の時間をめやすに、充電を行ってください。

照度 lx(ルクス)	光源	環境(めやす)	フル充電まで	ストップウォッチ 機能が使えるよう になるまで	1日ぶん 動かすには
700	蛍光灯	一般オフィス内	—	200時間	4.5時間
3,000	蛍光灯	30W 20cm	260時間	50時間	70分
1万	蛍光灯	30W 5cm	80時間	15時間	20分
1万	太陽光	くもり	80時間	15時間	20分
10万	太陽光	快晴 (夏の直射日光下)	8時間	2時間	6分

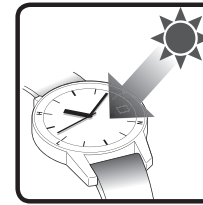
「ストップウォッチ機能が使えるようになるまで」の数値は、止まっていた時計に光をあてて、ストップウォッチ機能が使えるようになるまでに必要な充電時間のめやすです。この時間まで充電しなくても使用できますが、その状態ですぐにストップウォッチ機能が使えるなくなることがあります。この時間をめやすに充電してください。

※充電に必要な時間は、モデルによって若干異なります。

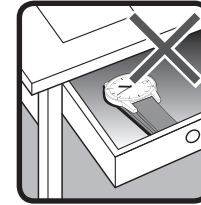
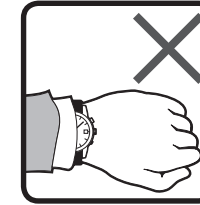
充電について

■ 充電のしかた

文字板に光をあてて充電してください。



快適にご使用いただくために、
十分な充電をすることを心がけましょう。



以下の状況では充電不足によりエネルギーが切れ、
時計が止まる可能性が高くなります。

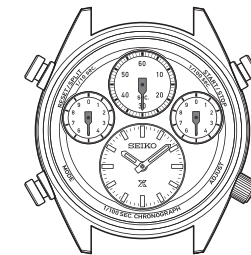
- 時計が衣類のそでの中に隠れている
- 光のあたりにくい環境での使用や保管が続く

※充電の際は、時計が高温にならないようにご注意ください。(作動温度範囲は-10℃~+60℃です。)

※使いはじめ、または充電不足で停止していた時計を駆動させるときは、P. 26の表をめやすに十分な充電をしてください。

エネルギーについて

エネルギー残量が少なくなると、ストップウォッチ秒針(1/100秒・1/10秒・秒)が6時位置を指します。その後、エネルギーが切れると、すべての針が12時位置に移動して時計が停止します。ストップウォッチ秒針(1/100秒・1/10秒・秒)が6時位置を指しているときは、十分な充電をしてお使いください。



充電のしかた → P. 25

充電にかかる時間のめやす → P. 26

- ストップウォッチ針が6時位置を指しているときは、ストップウォッチの操作しても作動しません。(故障ではありませんので、ご安心ください。)
- ストップウォッチ作動中にエネルギーが少なくなると、計測がリセットされることがあります。

使用電源について

この時計には、一般の酸化銀電池とは異なる専用の二次電池を使用しています。二次電池とは、乾電池やボタン電池のような使い捨ての電池とは異なり、充電と放電をしながら繰り返し使用可能な電池です。

長期的な使用や使用環境により、容量や充電効率が少しずつ低下する場合があります。また、長期間使用すると、機械部品の磨耗や汚れ、潤滑油の劣化等によって持続時間が短くなる場合があります。性能が低下し始めたら修理にお出してください。

警告

■ 二次電池交換時のご注意

- 二次電池は取り出さないでください。二次電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
- 一般の酸化銀電池が組み込まれると、破裂、発熱、発火などのおそれがあります。

5

ご注意ください

JA 28

お手入れについて

● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- りゅうずを引き出して洗わないでください。
- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。 ※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。 「性能と型式について」→ P. 31 「防水性能について」→ P. 33

● りゅうずは時々回してください

- りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。 「りゅうずについて」→ P. 10

● ボタンは時々押してください

- ボタンのさびつきを防止するため、時々ボタンを押してください。

5

ご注意ください

JA 30

※過充電防止機能

フル充電までの所要時間を超えて充電しても、時計が破損することはありません。二次電池がフル充電になると、それ以上充電されないように、自動的に過充電防止機能がはたらきます。 ※フル充電までの所要時間については「充電にかかる時間のめやす」→ P. 26 を参照してください。

警告

■ 充電時のご注意

- 充電の際、撮影用ライト、スポットライト、白熱ライト(球)などに、近づけ過ぎると、時計が高温になり内部の部品等が損傷を受けるおそれがありますのでおやめください。
- 太陽光にて充電する際も、車のダッシュボード等では、かなりの高温となり故障の原因となる場合がありますので、おやめください。
- 時計が60℃以上にならないようにしてください。

5

ご注意ください

JA 29

性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。



- 防水性能 P. 33 を参照ください。
- 型式番号 お客様の時計の種類を示す番号です。

- 耐磁性能 P. 34 ~ P. 35 を参照ください。

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

5

ご注意ください

JA 31

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあたりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~5 時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

<照度のめやすについて>

環境		明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000~3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明(白色蛍光灯 40W の下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

5

ご注意ください

JA 32

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上で使用ください。
(P. 31 をご覧ください)

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法	
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないでください。	
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。	△ 警告 水泳には使用しないでください。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。	
WATER RESISTANT 10(20)BAR	日常生活用強化防水で 10(20)気圧防水です。	空気ポンペを使用しないスキンドビングに使用できます。	



5

ご注意ください

JA 33

耐磁性能について(磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

△ 危険	
裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 10 cm 以上遠ざける必要があります。
	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)
	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

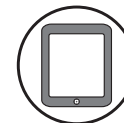
5

ご注意ください

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



スマートフォン・携帯電話・タブレット端末
(スピーカー部、カバーのマグネット部)



AC アダプター



バッグ
(磁石の止め金)



交流電気
シェーバー



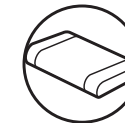
電磁調理器



携帯ラジオ
(スピーカー部)



磁気ネックレス



磁気健康枕

5

ご注意ください

JA 34

JA 35

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。

長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

● 金属バンド

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

5

ご注意いただきたいこと

JA 36

● シリコンバンド

- 材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- 他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



5

ご注意いただきたいこと

JA 38

● 皮革バンド

- 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- 時計本体が日常生活用強化防水 10(20)気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでの使用はお控えください。

● 布製バンド(ナイロン・ポリエステル)

- 糸を編み込んでいる構造上、皮脂や汚れなどが付着しやすい性質があります。
- 本製品への引っかかりによる製品のほつれ、破損などにご注意ください。
- 汗や雨で製品が湿った際、摩擦により色落ちし、他の衣料に色が移ることがありますのでご注意ください。
- 衣類の素材との摩擦により、静電気が起こることがありますのでご注意ください。
- 皮脂や汚れなどが付着した場合には、すぐに乾いた布などで軽く拭き取ってください。
- 乾燥させる際は、風通しの良い場所で陰干ししてください。
- 長時間の水洗いや、風合いが変わることがあります。
- 直射日光に当たる場所に放置すると、変色する可能性がありますのでご注意ください。

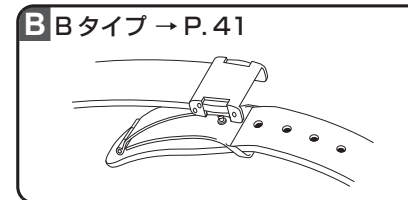
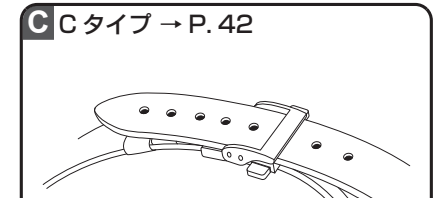
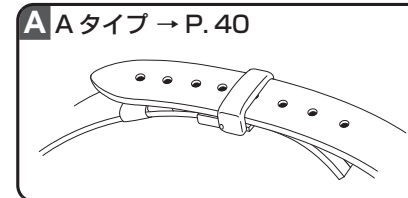
5

ご注意いただきたいこと

JA 37

皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた

皮革バンドには、調整可能な三つ折れ式中留を用いたものがあります。お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、それぞれの操作方法を参照してください。



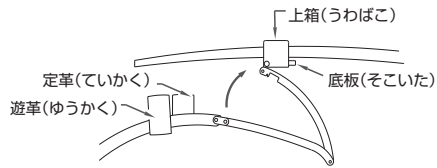
5

ご注意いただきたいこと

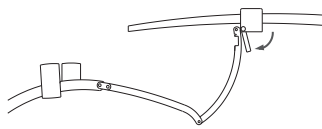
JA 39

A Aタイプの使いかた

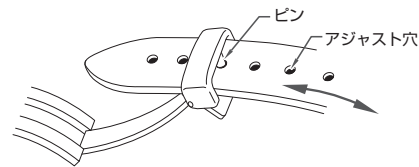
- ① バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。



- ② 上箱の底板を下に開きます。

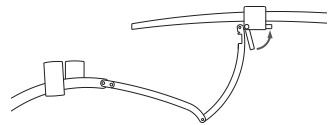


- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



- ④ 底板を閉めます。

※底板を押しこみ過ぎないようにしてください。



※中留を装着するときはバンド剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。

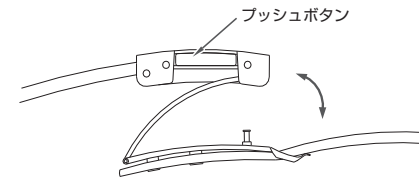
5

ご注意ください

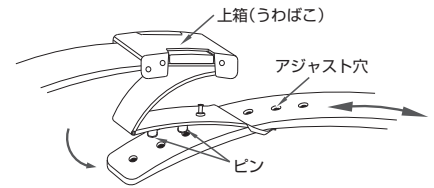
JA 40

B Bタイプの使いかた

- ① プッシュボタンを両側から押しながら中留を開きます。



- ② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。上箱を押し、中留を留めます。

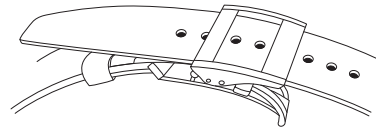
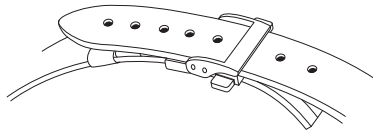


5

ご注意ください

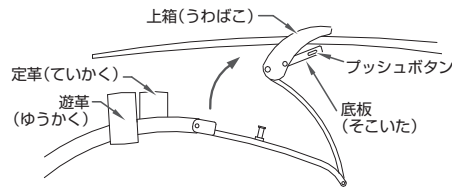
JA 41

C Cタイプの使いかた

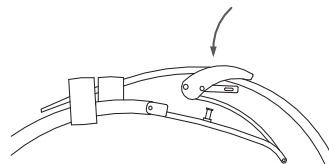


● 着脱のしかた

- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。

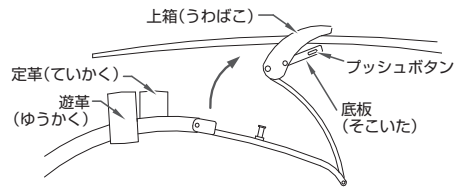


- ② バンドの剣先(先端)を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえて留めます。

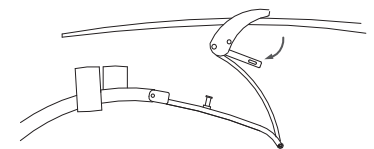


● バンドの長さを調節するには

- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



- ② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開きます。



5

ご注意ください

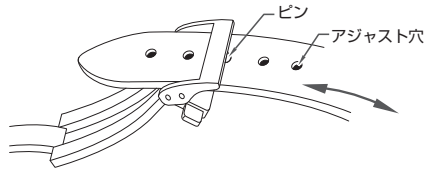
JA 42

5

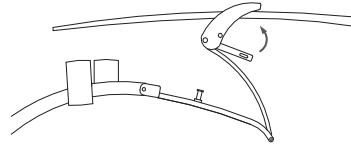
ご注意ください

JA 43

- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところ、ピンをアジャスト穴に入れます。

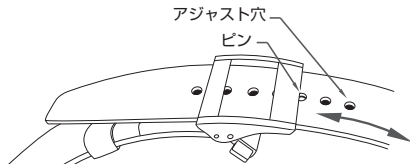


- ④ 底板を閉めます。



5

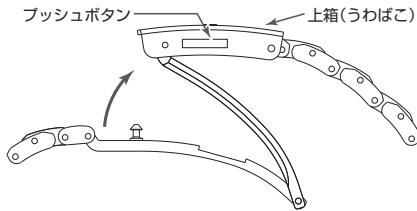
ご注意ください



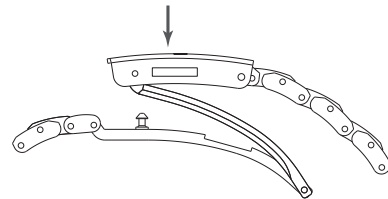
JA 44

● バンドの着脱(中留の開閉)について

1. プッシュボタンを軽く押して中留を開きます。
※プッシュボタンを強く(深く)押すとスマートアジャスター機構が作動し、バンドが長くなりますのでご注意ください。



2. 上箱を上からしっかり押さえて留めます。



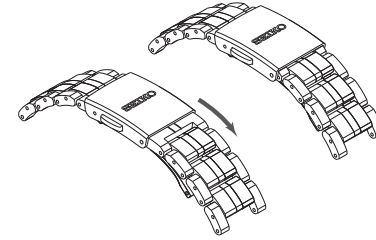
5

ご注意ください

JA 46

スマートアジャスター機構つき中留(なかどめ)の使いかた

バンド長さ(微調整)ができるスマートアジャスター機構つき中留を用いたものがあります。お買い上げの時計の中留が、図のような中留のときは下記の操作方を参照にしてください。
※最大約 5 mm 長くすることができます。
バンドが密着する等、不快に感じる場合には便利な機構です。



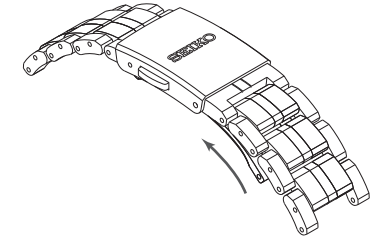
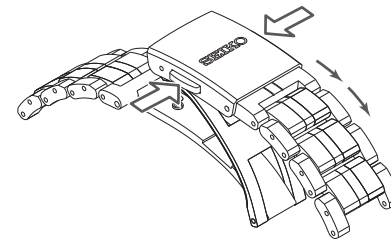
5

ご注意ください

JA 45

● バンドの長さを調節するには

1. プッシュボタンを両方から強く(深く)押すと、スマートアジャスター機構が作動し、バンドが(2段階)最大約 5 mm 長くすることができます。
2. 中留の上箱をしっかり押さえて留めます。
※中留を閉じた状態でも、スマートアジャスター機構で長くなった分を戻すことができます。



※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計の仕様とは異なる場合があります。

5

ご注意ください

JA 47

アフターサービスについて

● 保証と修理について

- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

● 補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

5

ご注意ください

JA 48

針の基準位置を合わせる

ストップウォッチをリセットしてもストップウォッチ針(1/100 秒・1/10 秒・秒・分)が 0 分 0 秒位置に停止しないときや、時分針が正しい時刻を指さないときは、基準位置がずれていることが考えられます。基準位置を合わせることで、正しい計測結果が表示されます。

基準位置がずれる理由として、以下のことが考えられます。

- 強い衝撃を受けたとき: 落とす、強くぶつけるなどの衝撃によってずれることがあります。
- 磁気の影響を受けたとき: 磁気を発するものに近づけることでずれることがあります。

「時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例」→ P. 35

1 ボタン A を押して表示を切り替え、時計が動いていることを確認する

ストップウォッチ秒針(1/100 秒・1/10 秒・秒)が 6 時位置を指しているときは、エネルギー残量が少ない状態です。文字板に光をあてて充電してください。

「充電について」→ P. 25

「充電にかかる時間のめやす」→ P. 26

2 ボタン A を押してストップウォッチ表示に切り替える

「表示の切り替えかた」→ P. 12

6

困ったときは

JA 50

● 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- 長くご愛用いただくために、3 年～4 年に 1 程度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。
またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

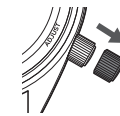
5

ご注意ください

JA 49

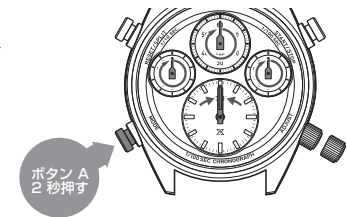
3 りゅうずを引き出す

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外してください。



4 針が動くまでボタン A を押す(2 秒)

すべての針が現在の基準位置を指します。その後、時針が小さく逆転・正転します。



6

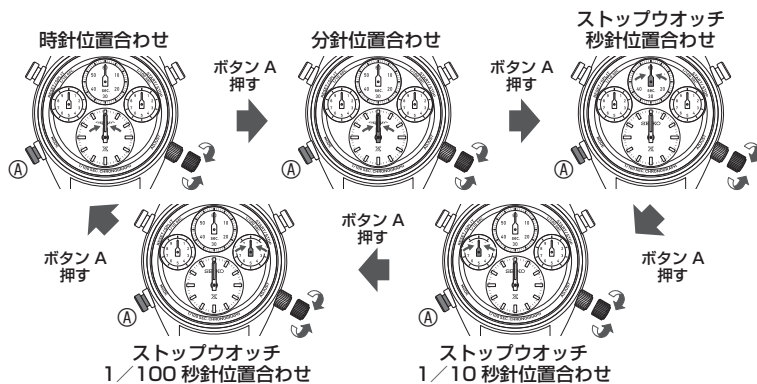
困ったときは

JA 51

5 すべての針を 12 時位置(基準位置)に合わせる

下図の順に、それぞれの針が 12 時位置に合っているか確認し、ずれている場合は合わせてください。

- ① りゅうずを回して、針を 12 時位置に合わせる
- ② ボタン A を押して、次の針位置合わせに進む
※このとき、選択された針が小さく逆転・正転、または 1 回転し、位置合わせができる状態を示します。
- ①② を繰り返して、すべての針を 12 時位置に合わせます。



困ったときは

6

困ったときは

6

JA 52

JA 53

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください	参照
時計が止まった	エネルギーがなくなっています。毎日身につけていて、この現象が起こる場合は、携帯中に時計が衣類の袖の中に隠れているなど、十分に光があたっていないことが考えられます。	十分な充電をしてください。携帯中は、なるべく時計が袖などに隠れないように気をつけてください。また、時計を外した際にもなるべく明るい場所に置くことを心がけてください。	P. 25
ストップウォッチ秒針(1/100 秒・1/10 秒・秒)が 6 時位置を指している	エネルギーが少なくなっています。毎日身につけていて、この現象が起こる場合は、携帯中に時計が衣類の袖の中に隠れているなど、十分に光があたっていないことが考えられます。		
モード切替時の針の動きが遅くなった			

困ったときは

6

困ったときは

6

JA 54

JA 55

6 りゅうずを 0 段目まで押し込む

ストップウォッチ表示に戻ります。

現象	考えられる原因	このようにしてください	参照
止まっていた時計を充電してもストップウォッチ針が 12 時位置を指さないまたは動かない	時計内部のシステムが不安定になっている。 あてる光が弱い。 充電時間が短い。	「システムリセットをする」を参照し、操作をしてください。 照度によって充電にかかる時間は変わります。「充電にかかる時間のめやす」を参考に、充電を行ってください。それでも動かなければ、「システムリセットをする」を参照し、操作をしてください。	P. 57 P. 26 P. 57
時計が一時的に進む/遅れる	暑いところまたは寒いところに長く置いた。 磁気を発生するもののそばに置いた。 落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。	常温に戻れば元の精度に戻ります。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。 精度は、磁気の発生するものから離せば元に戻ります。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。 時刻を合わせ直しても精度が元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。	- - -

現象	考えられる原因	このようにしてください	参照
ストップウォッチをリセットしても0分0秒位置に戻らない	針の基準位置がずれている。 外部からの影響やシステムリセットなどにより、針の基準位置がずれているときに起こります。	針の基準位置を合わせてください。	P. 50
ボタンが機能しない (ストップウォッチ機能が使えない、時刻／基準位置合わせができない)	エネルギー残量が少なくなっている。	ストップウォッチ機能、時刻／基準位置合わせができるようになるまで、十分な充電をしてください。	P. 25
ガラスのくもりが消えない	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。	—

※記載以外の現象はお買い上げ店にご相談ください。

3 ストップウォッチ針(1/100秒・1/10秒・秒・分)の基準位置を合わせる

「針の基準位置を合わせる」→ P. 52 の手順 5 から操作を行ってください。

4 りゅうずを0段目まで押し込む

時計が動きはじめます。

この時、12時0分の時刻表示の状態になっています。

ストップウォッチ秒針(1/100秒・1/10秒・秒)が6時位置を指しているときは、エネルギー残量が少ない状態です。文字板に光をあてて充電してください。

「充電について」→ P. 25

「充電にかかる時間のめやす」→ P. 26

5 時刻を合わせる

「時刻の合わせかた」→ P. 14 の手順 3 から操作を行ってください。

ストップウォッチ針の基準位置と、時刻を合わせたら操作は終了です。

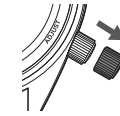
万が一、充電しても動かない、または異常な動きになったとき

万が一、十分に充電しても動かないときやストップウォッチ針が12時位置を指さないとき、または異常な動きになったときは、次の操作を行うことで正常に機能するようになります。

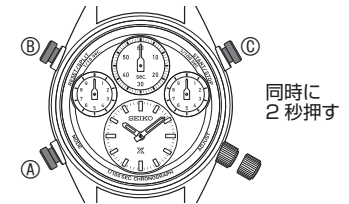
■ システムリセットをする

1 りゅうずを引き出す

※ねじロック式りゅうずのモデルは、操作前にりゅうずのロックを外してください。



2 ボタンA、B、Cを同時に2秒押す



製品仕様

機種	8A50
1.基本機能	基本時計 2 針(時・分)、ストップウォッチ針(1/100 秒・1/10 秒・秒針・分針)
2.水晶振動数	32,768 Hz(Hz=1 秒間の振動数)
3.精度	平均月差±15 秒以内 ただし、気温 5℃~35℃において腕につけた場合
4.作動温度範囲	-10℃~+60℃
5.駆動方式	ステップモーター式 5 個
6.使用電源	専用二次電池: 1 個
7.持続時間	約 6 ヶ月(1 日の使用条件が、ストップウォッチ 1 時間)
8.電子回路	発振、分周、駆動、充電回路: IC 1 個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様相談室

通話料無料 0120-612-911

セイコーウォッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>